

特集

暴風や水害に負けない

台風・水害に強い家づくり



住まいるニュースでは、暮らしに役立つ話題をご紹介します！
今回は、台風や水害などに備えた家づくりをご紹介します。

大型台風の接近による突風や豪雨による土砂災害など、近年は全国的に風水害のニュースが目立つようになってきました。このような自然災害から家族と財産を守り、先々まで安心して暮らすためには、住まいはどのような点に留意すれば良いのでしょうか。今回は、台風や水害への備えの観点から考える家づくりを取り上げます。

●地域の災害に対する備えは、地域の経験やノウハウに学ぶ
住宅そのものと土地の気候や環境とは切っても切れない関係にあり、全国どこでも同じような家づくりが望ましいわけではありません。台風の接近や豪雨による洪水など、地域によって発生しやすい災害についてはその土地に様々な経験やノウハウが蓄積されています。自治体の多くは災害発生が想定されるエリアを示したハザードマップを作成しているため、敷地を探す際には参

考にするのも良いでしょう。土地選びの段階から地元工務店に相談するのも有効です。建設予定地に何らかの災害の恐れがある場合は、十分な設計施工上の備えが大切。例えば浸水が想定される場合は、敷地や床をかさ上げしたり、2階では避難経路とともに設備機器をまとめておくなどの対策が考えられます。近隣の住宅にはどのような備えがあるのかを今一度把握しておきましょう。地域に根差した工務店であれば、その土地に合った災害対策の情報や経験に基づいた的確なアドバイスが期待できます。

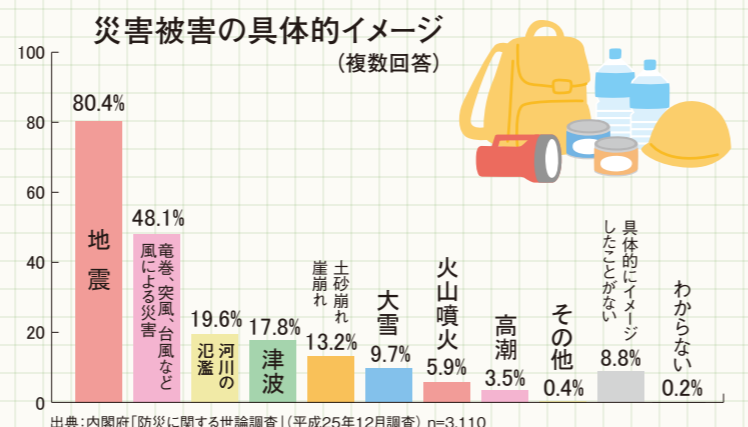
●パネルと工法の強みで風水害に耐えた「FPの家」
「FPの家」に採用されている「FP工法」は、柱の間に強固な「FPパネル」を組み込むのが特徴。壁・床・屋根が一体となって外からの力を受け止め、突風に対しても力強さを発揮します。青森では竜巻で多くの被害が

出た地域で「FPの家」がほぼ無傷で残り、地元の新聞に掲載されたこともあります。また「FPパネル」は耐久性が非常に強く水分を吸収することがほとんどないため、水害に対しても長所を発揮します。新潟では大きな被害に見舞われた地区で唯一「FPの家」だけが住みながらリフォームできたという事例や、高知では解体したFPパネルを別の敷地で住宅を建て直す際にそのまま再利用できたという報告もあります。「FPの家」の強みは、高い品質を誇る性能と、地元工務店の各地に根差した経験やノウハウが両立していること。それは不測の事態に耐えられる住宅そのものの強さと、地域に受け継がれる災害の教訓の両面から将来に備えられるということでもあります。自然災害の多い日本で末永く安心して暮らせるように、「FPの家」では全国の加盟工務店が切磋琢磨しながら家族や地域の資産となる家づくりに取り組んでいます。

なるほど！

納得ノート

今月のテーマ
高い風水害への危機意識
右のグラフは、自然災害とその被害を自分や家族に当てはめてイメージしたことがあるかを尋ねた調査です。「地震」に次いで「竜巻、突風、台風など風による災害」「河川の氾濫」の回答が目立ち、風水害に対する危機意識が広く共有されていることが分かります。



家づくりの知恵袋



今月のテーマ
乳幼児の安全対策

好奇心旺盛な赤ちゃんはハイハイを始めるころになると、家じゅうを動き回るようになります。常に目を離さず注意を払うことができれば理想的ですが、ちょっとした隙はどうしてもできてしまうもの。保護者の注意だけではトラブルは防げないと認識して、事前に屋内の対策を取ることが大切です。
例えば階段の低い位置に手すりを設けたり、踏面の先端部分に滑りにくい素材を使用することも有効。ドアの開閉によるケガを防ぐには、ドアクローザーによって閉まる速度を遅めたり、蝶番の隙間を埋める事故防止グッズなどもあります。子どもが安全に過ごせる家づくりを早い段階から検討しておきましょう。

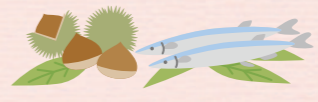
我が家のお悩み診断
Dr. 住まいる

今月のご相談
Q. ベランダの雨汚れをきれいに
大雨の後はベランダが汚れやすくて大変。オススメの掃除の方法はありませんか？
A. ベランダの掃除はホコリが舞い上がらない雨上がりに済ませてしまうと快適です。濡らした新聞紙をちぎって撒いてから掃き掃除をすると細かいホコリや塵がまとまるので効率的。その後は雑巾で拭いてから、最後に排水溝に溜まった汚れをまとめて取り除きましょう。

聞いて納得! 暮らしのアイデア

今月のアイデア
ペットボトルの水を太陽光で温水に
まだまだ日射しの強い9月。ペットボトルの水を日光で温め、血洗いやお風呂に活用すれば光熱費の節約になります。上面を外したダンボール箱の内側を黒く塗り、水の入ったペットボトルを置いて、その上から透明のビニールで覆います。十分な日射しがあれば、約5時間で最大40度程度まで温めることができますよ。

おうちで気軽に始めよう
住まいる風水



今月のテーマ
残暑を快適に過ごす

9月は風水では「土」の気をもつ季節とされています。少しずつ秋の気配が感じられてくるこの間に、暑い夏の間にとまった「火」の気を取り除き、本格的な秋を迎える準備を整えておくのが良いでしょう。サウナや岩盤浴などで汗を流すと、夏に蓄積された「火毒」を取り除く効果があるとされています。また、サンマや栗など秋の初物を食べるのも効果的。秋の花々やナナカマドなどの実ものを飾ると「実がなる」「成功する」という意味があり、運氣がアップするとされています。翌10月は「金」の季節となるので、来月に運氣が実を結ぶよう9月のうちからしっかりと気を落ち着かせておくことが大切です。